



地本NEWS

2015年
9月15日
自治労北海道
網走地方本部
2015第19号

創ろう!!
住民自治のための社会

第36年次自治研活動の推進

網走地方本部では、9月5日に「2015自治研学習会」を開催し、第36年次（2015～2016年度）の地方自治研究（自治研）活動は「人口減少下での地域づくり」をメインテーマとし、16年9月9日～10日に開催の「第36年次地方自治研究全道集會」や同年10月開催の「第36年次地方自治研究全国集會」へのレポート提出に向けた活動をスタートさせました。

14年5月に日本創生会議が「消滅自治体」リスト（増田レポート）を発表して以降、政府は「地方創生」を打ち出しました。

今回の学習会では『地域づくり』とは、政府が打ち出した「地方創生」のような「中央から押しつけられるもの」ではなく、「地域から積み上げるもの」でなければならぬとの視点に立ち、北海道地方自治研究所常務理事の杉谷光一氏を講師に招き、「住民協働のまちづくり」これでいいんだ自治研活動」と題して講演をしていただきました。

講演では、「地方創生」が人口減少問題解決への誤ったアプローチであることや地方財政の切り崩しを狙っていること、過去に押し進められた「市町村合併」が人口減



少や地域の衰退に拍車をかけたことなどの問題点を指摘し、具体的な地域づくりに対しては、地域の「人材」と「資源」への気づきや地域の「個性」「魅力」を引き出す

ために、「人」と「人」とのつながりが大切であることが話されました。

参加者からは、住民協働について質問があり、「自主自立のためには行政だけでは進んでいかない」「住民と行政との距離感が大切」との助言をいただきました。

その後、地本自治研推進委員会から第36年の活動に向けて「一人ひとりが職員になったときの気持ちをお忘れず、仕事を見つめ直し、やりがいのある働き方」につなげるため、この学習会を活かし、仲間との議論を第一歩に全単組総支部からのレポート提出に向けて取り組んでいくことを全体で確認し、本学習会を終了しました。

【今後の自治研スケジュール】

2016年

3月まで 単組テーマ決定・レポート作成開始

7月 レポートの提出

8月 網走地本自治研集會

9月 地方自治研究全道集會

10月 地方自治研究全国集會

